

ジュエリーミュージアム

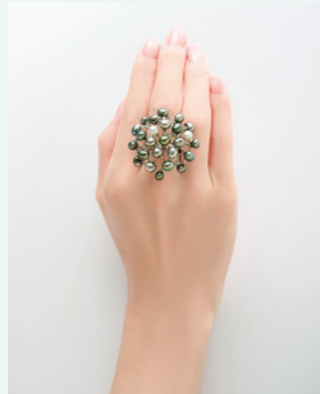
甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階やまなしプラザ内
TEL 055-223-1570 FAX 055-223-1572

企画展

ジュエリーをたのしむ1 パールジュエリーをたのしむ

山梨のジュエリーメーカーによる新作・近作のパールジュエリーの展示とともに、山梨のジュエリー業界で活躍する女性たちによる、ジュエリーの楽しみ方を紹介します。パールは、フォーマルな場で身に着けるイメージがある一方、さりげない装いにも品格を与えてくれます。身に着ける機会が少ない身近なジュエリー「パール」を日常に取り入れてみませんか。

開催期間／～2月12日(月)
観覧料／無料



〈BLACK ENERGY〉
デザイン:関戸智美 制作:(株)中込宝飾



〈アコヤパールペンダント〉
デザイン:市川治之 制作:(株)サイキ宝飾

県立考古博物館

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881
FAX 055-266-3882

冬季企画展 甲斐市の出土品Ⅱ —双葉・竜王の遺跡—

甲斐市の双葉・竜王エリアには、赤坂台古墳群と呼ばれる古墳時代終末期の円墳が点在し、多くの副葬品が出土しています。本展では、これらの貴重な出土品を紹介しながら、甲府盆地北西部地域の歴史について考えます。



経筒(塔之越塚塚出土)
山梨県指定文化財

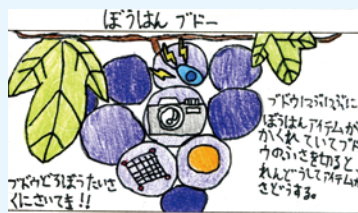
開催期間／～1月28日(日)
観覧料／無料

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151
FAX 055-240-0168

第20回 新春科学の夢を描く作品展

「科学が進歩するとこんなことができる!」をテーマに県内の小中学生が描いた、はがきサイズの作品を展示・紹介します。未来の科学に向ける子どもたちの視点が会場いっぱいに並びます。



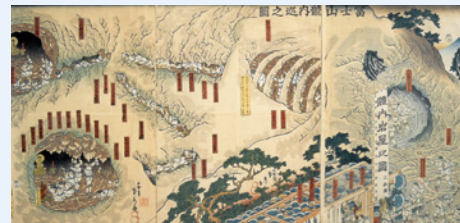
甲府市立井沢小学校 2年 あらいごすけ
第19回山梨県知事賞受賞作品

開催期間／2月3日(土)～15日(木) ※多目的ホール
観覧料／入館料のみ

富士山世界遺産センター

富士河口湖町船津6663-1
TEL 0555-72-0259
FAX 0555-72-0211

企画展 マグマの大地「まるび」 —自然と祈り、暮らしの場—



富士山體內巡之図

富士山の噴火によって流れ出した溶岩で形成された大地は「丸尾」と呼ばれ、薪や肥料を得る生活の場になったほか、胎内樹型などの信仰の場にもなりました。本展では、富士山の自然が生み出した溶岩と人間の関わりを紹介します。

開催期間／1月1日(月・祝)～2月26日(月)
観覧料／一般420円 大学生210円

富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1
TEL 0555-72-6206
FAX 0555-72-6183

富士山自然ガイド スキルアップセミナー

富士山とその周辺の自然ガイドに役立つ、科学研究の成果と知見を紹介するセミナーです。1月は「火山」、2月は「自然解説」、3月は「自然保護」をテーマに開催します。



平成28年度のスキルアップセミナーの様子

開催日時／1月21日(日)、2月10日(土)、3月10日(土)
午後1時30分～4時
参加料／無料

県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

開館40周年記念

コレクション企画展 山梨県立美術館物語 40年間のストーリー & ヒストリー

1978(昭和53)年に開館した山梨県立美術館は2018(平成30)年で40周年を迎えます。本展では、当館の歩みを、行事やイベントを記録した貴重な写真資料などを通して振り返るとともに、40年の間に開催してきた特別展や教育普及事業も紹介します。また、「私の愛する作品たち」のコーナーでは、来館者などに行ったアンケートで選ばれた所蔵作品を、寄せられたコメントと併せて展示します。

開催期間／1月2日(火)～3月4日(日)
観覧料／一般510円 大学生210円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



石井精一《畳の記憶(A)》
1975年制作 油彩・麻布(山梨県立美術館蔵)

ジャン＝フランソワ・ミレー《種をまく人》が報道陣の前に初公開された時の様子
1978年10月18日

県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

シンボル展 よみがえる! 甲府道祖神祭り

江戸時代、甲府城下では、甲斐国随一の道祖神祭りが催されていました。しかし、明治初期に祭りは突然中止され、その後、行われることはありませんでした。本展では、道祖神祭りに飾るために歌川広重が描いた幕絵を公開します。さらに、近年、甲府の商家・十一屋で発見された幕末期の祭礼用具も初公開します。146年の時を経て、祭りの華やぎが博物館でよみがえります。

開催期間／1月2日(火)～2月26日(月)
観覧料／一般510円 大学生210円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



甲府道祖神祭幕絵「東都名所目黒不動之瀧」(部分)
(山梨県立博物館蔵)



新たに十一屋で発見された資料の一つ、見事な彫りを施した「登り籠」(山梨県立博物館蔵)

県立文学館

甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

新収蔵品展 ブンガク玉手箱

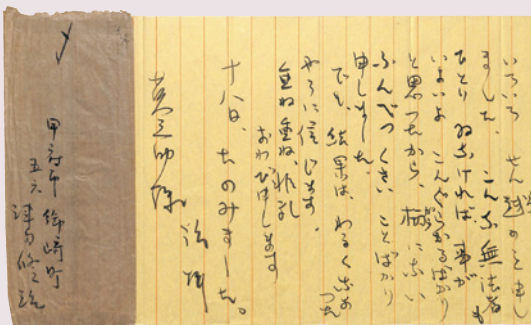
太宰治・田中冬二・辻邦生・野尻抱影・山本周五郎ほか

太宰治が甲府の下宿先や石原美知子と結婚後の新居から知人に送った手紙、「冥王星」の名付け親として知られ星に関する数々のエッセイを発表した野尻抱影の自筆原稿、奈良田や富士北麓など県内各地を訪れ人々の暮らしや自然を詩に詠んだ田中冬二の愛用品など、新たに収蔵した資料約70点を展示します。それぞれの個性が際立つ文学資料の魅力をお楽しみください。

開催期間／1月20日(土)～3月21日(水・祝)
観覧料／無料



田中冬二が愛用したベレー帽と眼鏡



太宰治が結婚後の新居から知人に送った手紙